

グローバルヘルス合同大会 日本セルフケア推進協議会 共催ランチョンセミナー報告



日本セルフケア推進協議会 国際連携部 部長
岸 智明

岐阜薬科大学卒業、1991年興和株式会社入社。同社の医療用医薬品等の事業開発部門、米国駐在、国際営業部門を経て2020年セルフケア推進室国際連携部並びに現職。

セミナーの概要

2020年11月1日(月)から3日(水)に完全オンライン形式にて「グローバルヘルス合同大会 大阪 2020」が開催され、海外24か国より約1400名の参加者がありました。そしてこの合同大会にて、本大会と日本セルフケア推進協議会との共催ランチョンセミナーが11月2日(火)に開催されました。本セミナーは、共催者の日本セルフケア推進協議会の代表理事(会長)の三輪芳弘氏の挨拶で開会し、公益社団法人日本WHO協会理事長の中村安秀氏を座長とし、一般社団法人Medical Excellence JAPAN(以下MEJ)理事長の近藤達也氏を演者に迎え「世界が求める医療の国際展開」という講演でした。

日本セルフケア推進協議会とは

本セミナー共催者である日本セルフケア推進協議会は、2019年1月に設立された団体です。本協議会は、医師、薬剤師、医薬品企業、薬局・ドラッグチェーン、民間保険会社、自治体、大学等産官学の垣根を超えて広くヘルスケア分野より有識者が参画し、横断的な情報交換により日本のみならず様々な国で直面している少子高齢化や人口減少に対し急務となっている「健康寿命延伸」に寄与すべく、生活者中心にヘルスケア全体を考えるための様々な調査やオープンな意見交換、それに基づく各方面への提言を行っています。そしてその活動において「ジ

ェロントロジー(高齢化社会工学)」、「デジタルトランスフォーメーション」、「アジアダイナミズム」といった時代に即した重要なキーワードを掲げていることもこの協議会の大きな特徴です。

ランチョンセミナー共催の背景

日本セルフケア推進協議会では、ヘルスケア分野の情報収集・発信をその活動の一つとしており、関連学会・団体との連携を大変重要視しています。本セミナーにてMEJの事業活動を紹介することもこの情報発信活動の一環でありました。MEJは、日本国政府が実行している「健康・医療戦略」の国際展開の中核を担っており、且つ政府、医療界、産業界との相互協力のもと医療サービス・医療技術を通して世界の人々の健康、福祉及び経済の発展の貢献を目指しており、大会参加者にとって大変興味深い講演でした。(スライド1)



左 日本セルフケア推進協議会 代表理事(会長)三輪芳弘氏
右 演者 一般社団法人Medical Excellence JAPAN 理事長 近藤達也氏

「世界が求める医療の国際展開」 ①～「日本の医療」の目指す姿

近藤理事長は、日本は世界の最先端医療を享受できる国家であり且つその優れた国民皆保険制度等により、「先進性」、「公平性」、「普遍性」、「スピード感」で欧米諸国を凌駕する立場であると示しました。また日本はICHの1極を占めているだけではなく新有効成分の薬剤開発品目数や新薬審査期間短縮では世界の上位に位置し、まさに世界の中での薬事大国でもあると示しました。このような健康医療先進国の日本に対して、MEJが目指す姿とは世界の医療のオピニオンリーダーとなり新しい社会価値を提示すること、そして日本の医療・医学、その制度を含め改革をリードするハブとなることとしています。その結果として日本の医療を世界ブランドにしていこうになるとも言及しています。(スライド2)

そのMEJが目指す世界とは、レギュラトリーサイエンスの手法による「患者中心の合理的医療」が各国に普及し、各国の医療の質を向上する絶対的価値観として共通言語化され、そして医療を通じて互恵的な新しい安全保障の国際秩序が作りあげられるものとしています。(スライド3)

「世界が求める医療の国際展開」 ②～MEJが進める中期計画

MEJの中期計画での具体的な活動は「四次元医療改革研究会」、「MExxの実現」、「Meets JAPAN」の3事業となっています。(スライド4)

日本が先進性のある医療を提供し続けるための課題の解決を目的とするのが「四次元医療改革研究会」です。これは国内中心の考え方を「二次元」とし、そこに海外展開を含めたものを「三次元」、更に将来という時間軸を組み入れたことで「四次元」と称しています。本研究会ではMEJ会員のみなならず、医療関係者、産業界、教育・研究機関等よりその声を集約し、独自選定の有識者で調査・議論を重ね、課題解決のための日本政府への提言や各界への協力要請を図ります。産官学連携を得意とし実効性のある成果を重視するMEJならではの研究会と感じます。(スライド5)

「MExxの実現」の「xx」には「JAPAN」のような国・地域名が入ります。つまり各国にMEJと同じ機能を有する団体を置くというものです。医療の国際展開に

おいて各国の「MExx」間で連携し合うことでより効率的、効果的に推進できるものと考えています。この動きもMEJ独自のものだけではなく、日本の外交政策に準拠する方策をとりより高い実現性を持たせているのがMEJの真骨頂と感じます。(スライド6)

「Meets JAPAN」はその名が示す通り、日本企業と対象国のステークホルダーとの出会いの場の提供です。最終的な医療連携、産業振興等を見据えた場であり、3事業の一連の流れを強く実感します。(スライド7)

最後に、出会いそして予感

近藤理事長より、MEJの活動を通じて、世界有数の産業となっている「医療」に貢献すること、そのための「日本の医療」の継続する発展を牽引することの重要性が強調されました。座長の中村氏よりは、MEJの医学のみならず各種学問及び産業による世界の医療への貢献に強く賛同し、医療の原点の「プライマリヘルスケア」の概念にある、医療の持続的な発展による社会変革、経済発展によって「世界平和」がもたらされるという大きな枠組みをこのコロナ禍において再度見直す必要があるとの重要なコメントがありました。(スライド8)

最後に「ユニバーサルヘルスカバレッジ」を掲げる日本WHO協会、「生活者中心にヘルスケアを考える」を提唱する日本セルフケア推進協議会、そして「患者中心の合理的医療」を推奨するMEJ



座長 公益社団法人日本WHO協会
理事長 中村安秀氏

の3団体が期せずしてここで出会いました。「グローバルヘルス」に対して精力的な活動を実践している3団体のこの奇跡の出会い、「No one will be left behind」を求める世界の中で何か新たな「化学反応」を生み出す予感がしてなりません。(日本セルフケア推進協議会は2020年9月に日本WHO協会の法人正会員となり12月にMEJの正会員となっています。)

日本の国際医療展開 – ミッションステートメント

【政府目標】
『健康・医療関連産業の国際展開による展開国での市場創出』

世界の医療への貢献
MEJは、各国・各地域の特性を踏まえた医療サービス・医療技術を通して、世界の医療の発展と充実に貢献します

日本の医療への貢献
MEJは、日本の医療の国際的な対応能力向上を支援することで、日本医療の発展に貢献します

経済発展への貢献
MEJは、医療機関と医療関連産業の成長を支援し、日本及び世界の経済発展に貢献します

一般社団法人Medical Excellence JAPAN (MEJ) は日本及び各国の政府、医療界、産業界と相互協力のもと、医療サービス・医療技術を通して、世界の人の健康、福祉及び経済の発展に貢献します

© 2020 Medical Excellence JAPAN

スライド1 MEJミッションステートメント

MEJが目指す姿

- MEJは、世界の医療のオピニオンリーダーとなり、新しい社会価値を提示する。
- MEJは、日本の医療・医学、その制度を含め、改革をリードするハブとなる。
- その結果として、日本の医療・医学を世界的なブランドにしていける。

MEJは会員へのベネフィットを第一にしつつ中立的立場を維持し、合理的で客観的な判断に基づき行動する。

MEJは、例えば電子カルテシステムの標準化等の抜本的改革の推進（プロトコルの刷新）を進め、世界に提示も進め、日本や世界の皆さんに安心感を与え、更には世界単位の（国際）治療の仕組みを進める。その改革の過程で世界規模の産業が創出されると考えている。

MEJは、努力をしている企業や病院が認められる環境を整備し、日本医療のブランド化の一環として発信を進める。

© 2020 Medical Excellence JAPAN

スライド2 MEJの目指す姿

MEJの目指す世界

- MEJは、日本が世界三大医療国であることの自負を持ち、日本の先進性のある、実績を踏まえた、スピード感のある、患者中心の合理的医療 (Rational Medicine Initiative) を関係各国に普及する。
- レギュラトリーサイエンスの手法を用いることで、「患者中心の合理的医療」を明確化し、関係各国と医療の質を向上する「絶対的価値観」として共通言語化することを旨とする。
- 医療を通じて、互恵的な新しい安全保障の国際秩序を作る。

①「患者中心の合理的医療」
その研究を進め、自国を越えて世界の患者に貢献を果たす

②「レギュラトリーサイエンス」
それを展開し、正しい評価をする
※医療を「メトリック」と「デモクリット」の観点から評価・予測する方法を研究し、社会生活との調和の中で、最も適した形に調整 (Regulate) すること

③絶対的価値観の訴求
多様性を重んじつつもぶれることのない価値観に基づく提案を進める

④医療は強力な安全保障
命を守るという究極の共通目的のための互恵関係を構築する

国民皆保険の維持・発展

© 2020 Medical Excellence JAPAN

スライド3 MEJの目指す世界

MEJの目指す姿 – 事業への変換

患者中心の合理的医療

レギュラトリーサイエンス

絶対的価値観の訴求

医療は強力な安全保障

→

三大医療国であることのエビデンスの明示

三大家事国であることのエビデンスの明示

課題を先導して解決に向けた取り組みの明示

RMJ実現に向けた共通価値の提示

RMJ導入に向けた支援

日本医療の海外への紹介

四次元医療改革研究会

MExxの実現

Meets JAPANの展開

※RMJ = Rational Medicine Initiative © 2020 Medical Excellence JAPAN

スライド4 MEJ 主要3事業

四次元医療改革研究会

日本の叡智を結集し、日本の医療の課題のソリューションを打ち出す

【「四次元医療改革」について】
理想的な医療体制を目指す上で、現時点における問題点の国内中心（二次元）での考え方に限らず、海外の医療の海外展開という考え（三次元）も視野に入れた形で考え、課題の解決策を提示し、関係各国と医療の質を向上する「絶対的価値観」として共通言語化することを旨とする。

【本研究会の目的】
日本が世界に誇るべき先進性のある医療を世界に広げ、各国の医療の発展と充実に貢献し、世界の医療の発展と充実に貢献します。また、本研究会は、レギュラトリーサイエンスの手法を用いて、医療の質を向上する「絶対的価値観」として共通言語化することを旨とする。

【目指す姿】
① MEJ企業会員、フォーラム会員、医療関係者、産業界、教育・研究機関等の声を集約して日本医療の国際展開の推進や医療の国際展開に貢献する仕組みを共に作り出すことによる貢献
② 日本の医療においてあるべき姿を掲げ、医療に携わる各々が課題解決に向けた協力関係を築くこと

【活動組織と役割】
A) ステアリング委員会
B) 評議会
C) 事務局
D) 分科会
E) 調査・作業の実行チーム
F) MEJ事務局

【事業活動】
● 研究課題の選定（ステアリング委員会）
● 議論すべき課題の選定（事務局）
● 課題の調査・研究（調査・作業の実行チーム）
● 分科会での議論から評議会への議論展開
● 提案書の作成と提示、理事会への報告

© 2020 Medical Excellence JAPAN

スライド5 四次元医療改革研究会

MExxの推進

各国の医療改革のハブ同士の国際連携

① 政府のエンドースを受けた産学医連携の医療国際展開の民間窓口
② 目指すのは「患者中心の合理的医療の実現」
③ 各国の医療の発展、産業の育成・成長を支援する組織
④ 共同のシンポジウム

© 2020 Medical Excellence JAPAN

スライド6 MExxの推進

各事業の連携と発展

課題からソリューションへ

医療とビジネスの国際協力基盤の整備

医療連携PFで伝播・啓発推進事業展開へ

主要3事業の実践でMEJの構想を具現化する

四次元医療改革研究会
医療に顕在化する課題を、国内中心から海外展開に視点を拡大し、理想的な姿を反映した「将来」という時間軸を取り入れ、産医の横断的に解決を進める

MExxの実現
日本国内の産学医連携体制のカウンターパートを各国に立ち上げ、両国の医療の補完・発展の展開、そして事業展開を円滑にする仕組みを整備する

Meets JAPANの展開
MEJが整備したソリューションを産医一体となって海外に提案し、相手国との協力関係の妨げにならない事項を取り除き、医療事業での協力の醸成を進める

MEJが目指す世界の実現
『世界に「健康」と「叡智」と「富」をもたらす医療と医学のイノベーションを実現』

© 2020 Medical Excellence JAPAN

スライド7 3事業の連携と発展

医療は、様々な学問や業種により支えられ発展してゆく

患者中心の合理的医療をオールジャパンで実現し、展開する

© 2020 Medical Excellence JAPAN

スライド8 患者中心の合理的医療